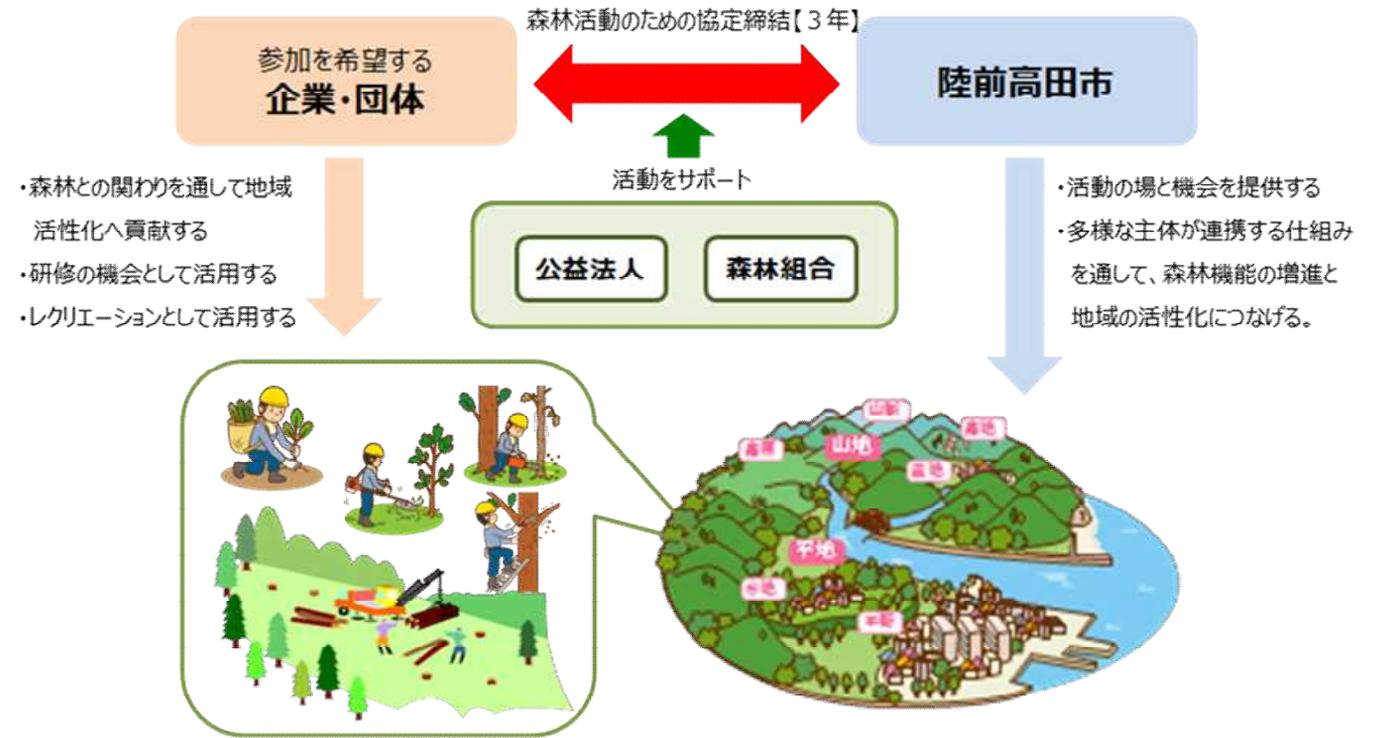


陸前高田市「企業等による森づくり制度」のご案内

山・川・里・海のつながりによってもたらされる三陸特有の貴重な自然の恵みを、よりよい状態で未来のこどもたちに残すため、多様な主体が連携して森づくりを行い、脱炭素・自然共生社会の実現に向けて取り組む制度です。



陸前高田市の概要

岩手県の東南端、三陸海岸の南の玄関口として、大船渡市、住田町、一関市、宮城県気仙沼市に接し、宮城県との県境に位置しています。また、北上山地の南端部に位置し、氷上山などをはじめとする山地、豊かな緑や水を育む気仙川が注ぐ広田湾、なだらかな斜面や低地が広がっています。気候は、三陸沿岸に位置しているため、海洋の影響と地理的条件から四季を通じて温暖です。

本市の森林の概況

本市の森林面積は、18,555haで、市全体の約80%を占めています。そのうち民有林が17,218haとなっており、そのうち人工林面積が9,904ha、人工林率は58%で、県平均42%を大きく上回り、県内市町村の最高水準に達しています。

樹種の大半がスギ及びアカマツであり、スギは62%、アカマツは25%を占めています。

人工林率が高く、伐期を迎えている本市の森林整備を進めるうえで、陸前高田市森林組合が重要な役割を果たしています。



竹駒町
山の麓で、棚田がある町。山頂付近には温泉「玉乃湯」がある。昔、金が採掘されていたという「玉山金山遺跡」にも登山できる。

横田町
山に囲まれた町。「川の駅よこた」では町でとれた川の幸や、特産の「北限のゆず」を使ったお菓子が発売されている。

矢作町
市内でも内陸側にある町。山では山菜が採れる。「白糸の滝」や「清水の湧口」、「閑置院」などの名所がある。

米崎町
山の麓の町。特産物は山の恵みの「米崎りんご」と「マスカットサイダー」。

小友町
浅の見える丘の町。大船渡市との市境には箱根山があり、展望台からは海が見える。気仙大工発祥の地であり、古民家を再現した「気仙大工伝承館」がある。

広田町
海と山に囲まれた漁師町。特産物には「わかめや牡蠣」「黒崎仙峡温泉」がある。

気仙町
「けんかセタ」などの伝統的なお祭りが続く。震災遺構である「旧道の駅高田松原」や津波の被害を伝える「いわてTSUNAMIメモリアル（東日本大震災津波伝承館）」がある。

高田町
市の中心地。「陸前高田駅」や「アバッセたかた」など、人が集まる施設がたくさん。町の方がやっているおしゃれなカフェもある。

制度の概要

対象森林	陸前高田市が管理する森林(市有林)を1区画提供します。 ※森林法第5条に基づく地域森林計画の対象森林		
協定期間	3年(更新可能)	協賛金	50万円/年額
森林保全活動計画の作成	活動計画書を提出いただきます	命名	看板の設置可 例)「●●●の森」
参加条件	<ul style="list-style-type: none"> 活動を実施するための協定を締結する。 従業員やその家族による森づくり活動を年1回以上実施する。 活動に要する費用(旅費交通費、活動支援を受けるための企画調整費、飲食代等)は、参加企業または参加者が負担する。 		

様々な目的で制度を活用いただけます

企業の社会貢献

- ・調印式の実施
- ・CSRレポート等で活動PR
- ・顧客や取引先との共同作業
- ・協賛金で森林整備に貢献

社員研修、レクリエーションの機会

- ・森林整備の大切さを学ぶ
- ・森林整備に必要な知識と技術を学ぶ
- ・社員の研修に森林整備活動を取り入れる
- ・社員の家族も一緒に活動に参加する

参加企業のアイデアで様々な企画を実現

- ・高田松原復興祈念公園(伝承館など)を視察し、社員の防災意識を高める
- ・広田湾の養殖場視察(遊漁船体験)
- ・地域の木材「気仙スギ」を社屋の木質化に活用する



活動開始までの流れ



活動地の特徴

- ・中心市街地や広田湾が一望できる抜群のロケーションです。
- ・木を育てる「保育作業」を中心に取り組んでいただけます。
- ・森林活動だけでなく、東日本津波伝承館での防災学習、広田湾の養殖事業、藻場再生プロジェクト、その他文化活動など、希望に応じた市内施設を活用いただくことが可能です。

